

令和元年度第2回青少年問題協議会

結果報告

- 1 会議の開催
中止（令和2年3月26日）

- 2 審議会の議事内容
 - (1) 青少年問題協議会の審議のテーマの承認
 - (2) 本アンケート結果の取り扱いについての承認

- 2 中止に伴う対応
議事内容について委員意見を聴取した上で意思確認を実施した。（別紙）

- 3 議事内容の結果について
座長を除く24名の委員のうち、23名から承諾の意思を確認したため、過半数により議事は全て承認することとした。

令和元年度青少年問題協議会に係る委員意見等

令和2年3月19日

1 【意見】

※順不同

内容	委員名
<p>大規模なアンケートで、貴重な意見集約の機会になったと思います。集計にご苦労も多いと思いますが、是非結果分析を子ども達に対してもフィードバックしていただけたらと思います。又、リーフレットは幅広く広報されるとのこと、有意義だと考えます。</p>	平見
<p>大変多くの意見をもらえてよかったです。回答の中で少数になっているものには、特に注意をして分析することが必要だと思います。各課での共有、HPなどの公開をすることで情報を庁内、市民で共有し、いろんな角度から子どもたちの思いや求めるものへの対応ができればと思います。そして、子どもたちにフィードバックできればと思います。意見を出したことがどう反映されたかを伝えることで、今後も参画したいという意識が高まるかと思いません。</p> <p>来年度のテーマが「子どもの権利」となったことについて、とても素晴らしいことだと思います。</p>	片山
<p>アンケートは、無記名で行ったことにより、回収率も良く、率直な記述が多く寄せられたのでは、思いました。</p> <p>第2回の専門委員会の結果の所にあるように、「アンケート結果を・・・市の施策を考える上で多部署への共有も希望する」とのことは、大変に重要であると考えます。</p> <p>是非、共有にとどまらず反映させていただきたいと要望致します。リーフの配布を行い、「子どもの権利について啓発を行うこと」が効果的だと思いますので、配布先の拡充も含め、宜しくお願いします。</p>	紀
<p>今回「子どもの権利」を取り上げた理由は、昨年3月27日の協議会で『平成31年度は子どもの権利に関する条例が制定されて10年になる』という事であったと思います。また、『15年前、条例制定前にとったアンケートをベースに、また、それ以降、この間に子どもたちの状況も変わっておりますので、そういったものを反映させていただいて、他市の情報も含めた形で一つのアンケートをつくり上げよう』事務局の方々は考えておられました。一部の委員からは『経年比較もできると思う』との意見が出され、私もそのように思っております。</p> <p>専門委員会の皆さまにおかれましては、是非『経年比較』と『他市の情報との比較』について、審議いただきその考察をご披露いただきたいと思います。また、審議・考察の結果を踏まえ、子どもたちに対して我々小金井市民・学校の教師・市役所や警察など取り巻く者たちは、いかに対応すべきか提言していただきたいと思います。</p>	福嶋

2 【質問】

内容	委員名	事務局回答
設問9「将来の夢やなりたい職業がありますか？」は①ある②なんとなくある③ない。3つの回答欄しかないのに④と答えた子どもたちがいます。これはどういう事なのでしょう。	福嶋	事務局でもはっきりした原因はわかりません。 データを確認しましたが、例えばすべての設問で④に丸をつけるなどの極端な回答はごく一部でしたので、回答者の誤記入もしくは自由意思によるものと考えます。また、その他への記述から見ると、どの選択肢も自分の気持ちと違うと感じた可能性もあります。